９－４　当期純利益の振替

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① 当期純利益の振替に関して、個人商店と株式会社の違いを理解しよう！

② 当期純利益の振替の仕訳をマスターしよう！

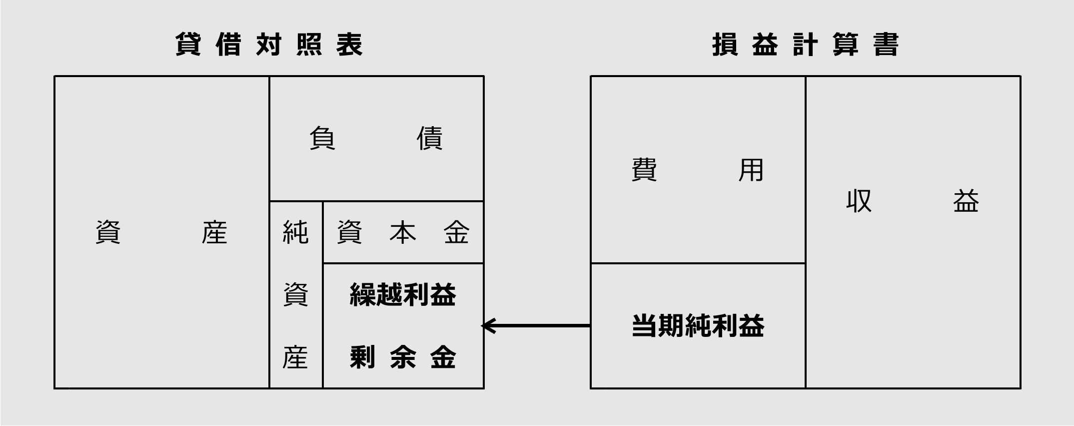
主な勘定科目

「損益」勘定

「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

個人商店においては、「損益」勘定で算定した当期純利益を「**資本金**」勘定（**純資産**）に振り替えました。しかし、株式会社では「損益」勘定で算定した当期純利益を「**繰越利益剰余金**」勘定（**純資産**）に振り替えます。なお、この処理は、決算振替の資本振替として行われますが、詳しくは［11－1］で学習します。

繰越利益剰余金は会社が獲得した利益で、まだその処分が決まっていない利益剰余金をいいます。



例題９－８　**決算において当期純利益10,000円を算定し、資本振替を行う。**

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
損　　　益	**10,000**	**繰 越 利 益 剰 余 金**	**10,000**

９－５　剰余金の配当

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　配当の内容を理解しよう！

②　配当に関する仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「未払配当金」勘定（負債）

「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

会社は株主から出資してもらった元手をもとに経営活動を行います。そして、利益を獲得した場合、株主に配分として現金を還元します。これを、**配当**（はいとう）といいます。

株式会社では、獲得した利益をどのように配当するかや、どのように処分するかということを通常、決算日３ヶ月以内に開催される株主総会で決定します。

株主総会では配当を決定しますが、配当の支払は後日行われますので、株主総会決議時には配当金額を「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「**未払配当金**」勘定（負債）に振り替えます。

また、配当金支払時には「未払配当金」勘定（負債）を減少させます。

例題９－９　**株主総会において利益剰余金による配当2,000円が決議された。なお、利益準備金の積立は行わない。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金	**2,000**	**未払配当金**	**2,000**

例題９－10　**株主総会において決議された配当2,000円を当座により支払った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
未払配当金	**2,000**	**当座預金**	**2,000**

９－６　剰余金の処分

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

① 利益準備金の積立と任意積立金の積立の内容を理解しよう！

② 利益準備金の積立額を覚えよう！

③ 利益準備金の積立と任意積立金の積立に関する仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「利益準備金」勘定（純資産）

「任意積立金」勘定（純資産）

「繰越利益剰余金」勘定（純資産）

（１）利益準備金の積立

利益準備金とは、会社法の規定により積み立てが強制されている利益剰余金です。

利益準備金を積み立てるということは、「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「利益準備金」勘定（純資産）に振り替えることを意味します。

会社法では、利益剰余金（繰越利益剰余金）による配当金の10分の１を利益準備金として積み立てることを規定しています。また、利益準備金の積立は、資本準備金と利益準備金の合計額が資本金の４分の１に達するまで行います。

したがって、利益準備金の積立は以下となります。

① 利益剰余金による配当金×$\frac{1}{10}$

② 配当時の資本金×$\frac{1}{4}$－配当時の資本準備金＋利益準備金

→ いずれか小

例題９－11　**株主総会において利益剰余金による配当40,000円が決議された。ただし、資本金100,000円、資本準備金15,000円、利益準備金5,000円であった。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
繰 越 利 益 剰 余 金	**44,000**	**未　払　配　当　金**	**40,000**
		利　益　準　備　金	**4,000**

配当金40,000×$\frac{1}{10}$=4,000

100,000×$\frac{1}{4}$－(15,000＋5,000)＝5,000

→ 4,000

例題９－12　**株主総会において利益剰余金による配当40,000円が決議された。ただし、資本金100,000円、資本準備金15,000円、利益準備金7,000円であった。**

借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
繰 越 利 益 剰 余 金	**43,000**	**未　払　配　当　金**	**40,000**
		利　益　準　備　金	**3,000**

配当金40,000×$\frac{1}{10}$=4,000

100,000×$\frac{1}{4}$－(15,000＋7,000)＝3,000

→ 3,000

（2）任意積立金の積立

任意積立金とは、会社が株主総会決議によって任意に積み立てた利益剰余金です。任意積立金に積み立てるということは、「繰越利益剰余金」勘定（純資産）から「任意積立金」勘定（純資産）に振り替えることを意味します。

任意積立金には特定の目的があるもの（新築積立金（しんちくつみたてきん）、配当平均積立金（はいとうへいきんつみたてきん）等）と特定の目的がない別途積立金があります。勘定科目としては「**新築積立金**」勘定（純資産）、「**配当平均積立金**」勘定（純資産）や「**別途積立金**（べつとつみたてきん）」勘定（純資産）を用いる場合と、「**任意積立金**」勘定（純資産）を用いる場合があります。

例題９－13　**株主総会において以下の事項が決議された。**

利益剰余金による配当40,000円　　利益準備金の積立4,000円

別途積立金の積立10,000円

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金	**54,000**	**未払配当金**	**40,000**
		利益準備金	**4,000**
		別途積立金	**10,000**

第９章　株式会社会計　問題

問題9-1　以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。

①　当社は取締役会の決議により、株式100株を1株の払込金額900円で発行し、全株式について払い込みを受け、払込金額を当座預金に預け入れた。なお、払込金額のうち、会社法で認められる最低限度額を資本金に組み入れた。

②　当社は、設立にさいし、株式10株を１株につき40,000円で発行し、払込金は当座預金とした。ただし、１株の払込金額のうち30,000円を資本金に計上することにした。なお、設立に要した諸費用25,000円は小切手を振り出して支払った。

③　定時株主総会において利益剰余金990,000円を次のとおり配当及び処分することが承認された。

利益準備金：各自算定　　別途積立金100,000円　　株主配当金：600,000円

なお、当該株主総会時におけるその他の純資産の勘定は以下のとおりであった。

資本金2,000,000円、資本準備金300,000円、利益準備金150,000円

④　株式会社東京商事は、決算の結果、当期純利益123,000円を計上した。

第９章　株式会社会計　答案用紙

問題9-1

	借方科目	金　　額	貸方科目	金　　額
①				
②				
③				
④				

第９章　株式会社会計　解答解説

問題9-1　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	当座預金	90,000	資本金	45,000
			資本準備金	45,000
②	当座預金	400,000	資本金	300,000
			資本準備金	100,000
	創立費	25,000	当座預金	25,000
③	繰越利益剰余金	750,000	未払配当金	600,000
			利益準備金	50,000
			別途積立金	100,000
④	損益	123,000	繰越利益剰余金金	123,000

問題9-1 **解説**

① 会社法で認められる最低限度額とは、払込金額の２分の１です。払込金額のうち、資本金としなかった金額は「資本準備金」勘定（純資産）で処理します。なお、仕訳における金額は以下のとおりです。

当座預金：900円×100株＝90,000

資本金：900円×100株× $\frac{1}{2}$ ＝45,000

資本準備金：90,000－資本金45,000＝45,000

② 設立における払込金額のうち、資本金に計上しなかった金額は、「資本準備金」勘定（純資産）で処理します。また、設立に要した諸費用は「創立費」勘定（費用）で処理します。なお、仕訳における金額は以下のとおりです。

当座預金：@40,000×10株＝400,000

資本金：@30,000×10株＝300,000

資本準備金：400,000－資本金300,000＝100,000

③ 利益準備金の積立額はいわゆる「４分の１」規定がありますので、注意して下さい。

借方科目	金額	貸方科目	金額
繰越利益剰余金	**750,000**	**未払配当金**	**600,000**
		利益準備金	**50,000**
		別途積立金	**100,000**

利益準備金は以下から50,000円となります。

配当金600,000× $\frac{1}{10}$ =60,000

2,000,000× $\frac{1}{4}$ －(300,000＋150,000)＝50,000

→ 50,000

④ 株式会社では、「損益」勘定で算定した当期純利益を「繰越利益剰余金」勘定（純資産）に振り替えます。